

防災科学技術総合研究報告の創刊にあたって

このたび、関係者各位の御協力により、「防災科学技術総合研究報告」の第1号が出版されました。これに続いて昭和40年3月末までに雪害関係等の総合研究について第2, 3, 4, 5号の刊行が予定され、その後も順次刊行される計画であります。

本シリーズは、主に特別研究促進調整費による防災関係総合研究の成果をとりまとめ出版するものであります。

国立防災科学技術センターは、昭和38年発足以来、防災科学技術に関して、共用施設の整備、資料の収集整理、基礎的総合的研究活動と三つを基本方針として推進して参りましたが、ここに初めて研究活動の成果の一端を公表する運びとなった次第であります。当センターの取扱う研究活動は、各省庁研究機関等が防災に関する研究題目について協同して行なう「総合研究」と、当センター自身の行なう「通常研究」とに2大別され、前者の成果がこのシリーズに公表され、後者の成果は「防災科学技術センター研究報告」の名のもとに別途刊行する予定になっております。

防災科学技術の研究においては、つとに、各専門分野を総合する必要性が強調され、このたびの「総合研究」もまたその趣旨に沿って行なわれているものであります。しかしながら、それぞれの学問体系にもとづく諸研究を総合するということは実際的にも困難なる点が多く、当センターの総合推進の経験が浅いことなども因となり、本報告におきましては、各執筆者個々のレポートの評価は別として、総合性の面においてはなお至らざる悩みのあることを反省いたしておりますが、それらは今後その充実発展に努力いたしたい所存であります。

いうまでもなく防災科学技術の進歩のためには、各専門分野の科学者、技術者が協力できる基盤の在ることが必要であります。本シリーズがそのような基盤造りに役立つことができれば幸いと考へ、ここに叙上の経緯において刊行することに致しました。本シリーズの今後の発展を期待するとともに関係者各位の御協力の程お願い申し上げます。

昭和40年3月

国立防災科学技術センター所長

和 達 清 夫